



技師講演「我らマイノリティができること ～だから内視鏡はやめられない～」  
山下病院（愛知県） 臨床検査技師 馬場 朱美 先生

臨床検査技師として愛知県一宮市にある山下病院に就職され、消化器内視鏡技師としてご活躍中です。臨床現場では上下部消化管内視鏡の介助はもちろん、胆膵領域の介助でもメディカルスタッフを代表する実績を持ちます。日本消化器内視鏡技師会では教育委員会や業務検討委員会メンバーとしてご活躍中。発表・講演とご多忙の中、消化器内視鏡技師のオピニオンリーダーとして北海道で介助術について熱くご講演をいただきます。

医学講義 1「内視鏡操作方法を理解して検査・治療を介助する～なぜ内視鏡医はソコにこだわっているのか?～」  
北海道大学大学院 消化器内科学教室 宮本 秀一 先生

2021年から2年間スウェーデンで内視鏡を指導し、スウェーデン初となる基礎内視鏡技術の教本「Endoskopi Teknik Och Praktik」をスウェーデンで単著として発刊し、現在6ヶ国語で発刊（作成中を含め）されています。2023年に帰国し、北海道大学大学院消化器内科学助教に着任。帰国後は初学者向けの新規ハンズオングループ「Hokkaido Endoscopy School」の立ち上げ、日本語版教本「最速で身につける！消化器内視鏡の基本テクニック」の発刊、新規トレーニングシミュレーター「mikoto」の共同開発と、基礎技術指導の改善と普及を目指し活動されています。



医学講義 2「大腸内視鏡検査・治療の基本と応用～当科の取り組みを踏まえて～」  
札幌医科大学 消化器内科学講座 / 消化器先端内視鏡学講座 山川 司 先生

青森県弘前大学をご卒業後は北海道内の施設で研鑽を積み、2023年に学位を取得された後、現職。第30回大腸IIc研究会 最優秀賞、2022年日本消化器内視鏡学会 Case report 賞などの受賞歴もあり、研究から検査・治療までオールマイティーにご活躍されています。今回は大腸内視鏡検査・治療と札幌医大での取り組みについて講演していただきます。

医学講義 3「安全で安心な胆膵内視鏡検査治療を目指して～医者是一体何を考えているのか?～」  
旭川厚生病院 消化器内科 河本 徹 先生

旭川医科大学をご卒業後、北海道内の関連病院で研鑽を積み2013年に旭川厚生病院へ赴任。若手胆膵のエースとして道北地域の最後の砦としてご活躍されています。年間800件のERCPや各種ドレナージ術、2024年からは遺伝・ゲノム診療科を兼任され超多忙な毎日ですが、患者一人一人と真摯に向き合うことを信条に日々奮闘されています。ご講演では安全なERCPを行うためのメソッドと医師が術中考えていることをメディカルスタッフにわかりやすく解説いただきます。

